

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

里の積雪に初花を促すという意味の発火雨が強く降り続けるが、雪解けは何時になるか農業関係者からは心配の声が増しに強くなってきた。昨年の今

頃は農作業をしていた時期だ。大北地域北部は当分の間作業見通しができず、野菜の種まき適期と言われる桜咲く訪れを願うばかりだ。

昭和29年の今日4月5日15時33分発青森発上野行「集団就職列車」が初めて運行された日だ。1983年の上野駅開業後、上野駅が東北本線の始発駅になり、上野駅は東北の若者の就職の受け入れ駅となり21年間集団就職列車が上野駅に到着。井沢八郎さんが歌う「あゝ上野駅」どこかに故郷の香のせて入る列車のなつか

しさ上野は俺らの心の駅だくじけちならない人生があの日ここから始まった」を口ずさんだ人も多はずだ。当時東北の若者が東京に憧れを抱かせたように、これからは国外から日本が豊か

音楽が奏でる日々である事を願いたい

希望に満ちた国と認知される取り組みを期待したい。

久し振りにNHK連続テレビ小説「ブギウギ」の放送を楽しむことができた。これまでの「朝ドラ」に「音楽」をかみ合わせた「音楽朝ドラ」の誕生

の魅力が視聴者の好感を受けたのだろう。現在劇場公開中の「映画ドラえもん」のび太の地球交響楽(シンフォニー)も映画館という音響が優れ、他の観客との一体感が得られる環境で見れば劇場で

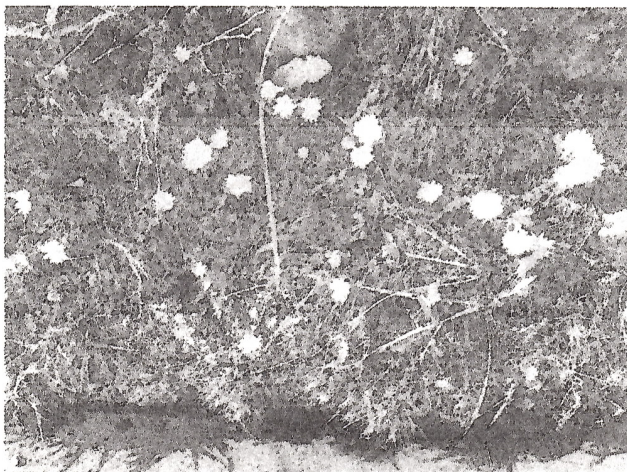
の音楽鑑賞と感じられる作品だ。ネタバレにならないので内容は伝えられないがシンプルに音楽の楽しさ追求した作品だ。

音楽と絵が重なった場面には、音楽という題材への真摯な向き合い方が素晴らしく、久し振りにコンサートに参加したい気分にもあってくれた時間でもあった。劇中のタイムパラドックスの歌詞の中に

「あのね僕のポケットの未来の君はねいつも笑ってるんだよだから君のポケットの未来の僕もね 笑ってほしいかな」。音楽の奏でる日常が本当の豊かな社会になるに違いないと信じてたい。

編発表でも、個人個人が好きなのを見がちな現状から家族や大切な誰かと一緒に企画で音楽に期待する傾向が顕著になってきて

いる。自らも積極的に音楽のある生活にしたいと思う。
(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



白馬の里にも春の訪れ告げる福寿草の花が